

第2回 ギターアンサンブルコンサート

～シグマギターの全アンサンブルが出演～



2015年11月15日(日)

12:30(開場12:00)

大田文化の森ホール 入場料1,000円

主催:シグマギタースクール

後援:日本ギター合奏連盟

ごあいさつ



本日は第2回ギターアンサンブルコンサートにご来場くださりまして、誠にありがとうございます。第1回は2007年3月に開催したので、ずいぶんさぼってしまいました(^_^;

第1回では土曜合奏団とザ・ステアが中心のコンサートでしたが、本日はシグマギターの全アンサンブル13団体が29曲を披露します。演奏時間は4時間ほどになりますが、おなじみの曲が多いのできっと楽しんでいただけたと思います。

ギターは独奏楽器として優れた性能を持っていますが、実はアンサンブルにも大変適しています。音楽の三要素は「リズム・メロディー・ハーモニー」といわれ、ギターは一台でこれらを表現できる楽器です。ただ残念なことに音が小さいこと、演奏が難しいことなどから独奏として楽しむには多くの壁を破り、幾多の山を超えなくてはなりません。有名ギタリストのコンサートでさえホールにはギター独特の緊張感が走ります。しかし、アンサンブルはそれらの弱点をいとも簡単に克服できます。そして、何より楽しいのです。演奏者が楽しいのなら、聴いてくださる方も楽しく感じるはずですよ。

私自身独奏は好きですが、やっぱりアンサンブルは格別です。一つの教室でこれだけのアンサンブルがあるというのも珍しいかもしれません。当初は私の呼びかけで作ったアンサンブルがほとんどでしたが、近年は自然発生的に生まれることもあります。生徒さん同士で話をしているうちに「じゃあ一緒にやろうよ！」という形で生まれたチームもあり、アンサンブルの輪が広がっています。

今日はそんなアンサンブルの魅力を余すところなくご披露したいと思います。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。また、アンケートのご協力もよろしくお願ひします。次回のコンサートプランはアンケートの集計から始まります。皆様の聞きたい音楽を中心にプランを立てたいと思います。

最後になりましたが、今日のコンサートのために一生懸命努力した出演者各位に敬意を表します。

また、定期練習日以外にも合宿や特訓などで出演者のご家族や関係者には幾多のご負担をおかけしたかと思います。そのご理解とご協力にこの場を借りて心よりお礼申し上げます。

2015年11月15日

シグマギタースクール
加藤繁雄

1. Duo Verde (辰野陽子・加藤繁雄)

★対話風小2重奏曲 Op.34-2 (F.カルリ)

フェルディナンド・カルリ (1770-1842) はイタリアのナポリ法廷委員をつとめた有名な文士の子として生まれ、最初教会音楽の歌唱法を学び、次にチェロを学び、その後ギターを独習したといわれています。古典派の巨匠フェルナンド・ソル (1778-1839) とほぼ同じ時代に生まれ、近代ギターの基礎を築いた人で、ギター教則本や練習曲はこんにちでも学習者に欠かせない教材となっています。300曲以上の作品を残して1842年パリで没しました。

対話風小2重奏曲 Op.34 は全部で6曲あり、その中でも第2番が最も知られています。ゆったりした長めの序奏と軽快なロンドからなる作品集です。

グループ名の Verde はイタリア語の“緑色”で、カルリの楽譜の表紙が緑色だったことから命名しました。



2. ラス・ブルッハス (太田登希子・木村美紀子・千葉由紀・田中孝子)



★テレマンのアリア TWV9.18 (G.P.テレマン)

ゲオルク・フィリップ・テレマン (1681-1767) は大バッハ (1685-1750) とほぼ同時代のドイツの作曲家です。バッハが後世になって高い評価を得たのとは逆に、テレマンは存命中から評価を得ていた人気の作曲家でした。そしてなんとといってもその作品数が膨大で、4000曲ともいわれています。これは一人の人間が作曲した最高数としてギネス認定されているようです。(同世代のヴィヴァルディが800曲、ヘンデルが600曲、バッハは1100曲)

テレマンのアリアとして知られているこの曲は、『Meine Seele erhebet den Herrn (わたしの魂は主をあがめ) TWV 9:18』という8曲からなるマニフィカトの6番目の曲です。

ところで、グループ名のラス・ブルッハスとはスペイン語で“魔女たち”を意味します。

★ティコ・ティコ (Z.アブレウ〜加藤編)

原曲はブラジルの作曲家ゼキーニャ・デ・アブレウ (1880-1935) が1917年に作曲したラテンソングです。正式なタイトルは「ティコ・ティコ・ノ・フバ」。「ティコ・ティコ」は雀に似たカラフルな小鳥で「フバ」はトウモロコシや米など穀物の粉のこと。一生懸命に粉を挽く農民と、その粉を次々に食べてしまうティコ・ティコの様子をユーモラスに歌ったもので、いわばブラジル版「権兵衛が種まきカラスがほじる」といったところ。この作品はのちに、アメリカに進出したサンバ歌手カルメン・ミランダが映画コバカバーナ (1947年) のなかで歌い、世界的なヒット曲となりました。

3. ラ・メリエンダ (加藤繁雄・太田登希子・木村美紀子・田中孝子)

★オブリビオン (忘却) (A.ピアソラ〜加藤編)

アストル・ピアソラ (Astor Piazzolla, 1921-1992) はアルゼンチンの作曲家、バンドネオン奏者で、タンゴを元にクラシック、ジャズの要素を融合させて独自の演奏形態を産み出しました。

オブリビオンという曲は、元々ピアソラがイタリア映画の映画音楽として作曲した曲ということです。しかし映画もヒットせず、曲もあまり話題にならなかったのですが、カンツォーネ歌手のミルバがフランス語の歌詞で歌ったところ評判になり、広く知られるようになったようです。

グループ名のラ・メリエンダは“おやつ”です。練習の時、皆おやつを持ち寄っておいしそうに食べています(^^;



★ブエノスアイレスの夏 (A.ピアソラ～永島志基編)

ピアソラが生まれたアルゼンチンの首都ブエノスアイレスを舞台にした〈ブエノスアイレスの四季〉は夏→秋→冬→春の順に作曲されました。最初に書かれた〈ブエノスアイレスの夏〉は舞台劇『金の垂れ髪』のために書かれた曲で、当初は“四季”の4部作を書くつもりではなかったようです。〈夏〉から2年後の1969年前半に〈秋〉、そして同年後半に〈冬〉〈春〉が誕生しました。

ブエノスアイレスはスペイン語で「buenos (良い) aires (空気、風)」の意味です。船乗りが望む“順風”が街の名前になったというわけです。編曲はギタリストの永島志基さんですが、志基さんならではの楽しいエピソードをご紹介します。とある合奏団のコンサートで次のようなMCがあったそうです。「次はヴィヴァルディの四季、指揮は永島志基さんです」……演奏前に場内爆笑！これでコンサートを仕切ったそうで……(^ ^) ;

4. SSQ (望月敬志・千葉由紀・加藤繁雄・吉沢順子・松井謙治)



★黒猫のシータ (G.M.ロドリゲス、M.パガーノ～加藤編)

〈黒猫のタンゴ〉と〈ラ・クンパルシータ〉をミックスして作った曲名です。

〈黒ネコのタンゴ〉は1969年3月イタリアの童謡コンテスト第11回ゼッキノ・ドロで第3位に入賞した“Volevo un gatto nero” (黒いネコがほしかった) が原曲です。「色々な動物と交換するから代わりに黒ネコがほしいと言ったのに、友達がくれたのは白ネコだった。嘘をついたからもう遊んであげない」というのがオリジナルの歌詞内容です。イタリア語のレコードは900万枚を売り上げました。

日本では1969年10月に皆川おさむ(6歳)が歌い大ヒットしましたが、詞の内容はオリジナルとはかなり違っています。皆川おさむは「タンゴ」が音楽用語とは知らず、ネコの名前だと思っていたそうです(^ ^♪

アルゼンチンタンゴの代表曲〈ラ・クンパルシータ〉は、ウルグアイの作曲家ロドリゲス(1897-1948)が17歳の時に学生行列をイメージして作った曲で、曲

名はスペイン語で「小さな行列」を意味します。

SSQは“Sigma Sophia Quartet(or Quintet)”の頭文字をとって名付けました。2005年に結成したので、今年10年目を迎えます。今年から新メンバーに松井謙治さんが加わり、一層充実したサウンドになりました。

★エーゲ海の真珠 (A.アルグエロ～加藤編)

イーゼリスニングの帝王といわれたポール・モーリア(仏1925-2006)のヒットナンバーから1971年のヒット曲〈エーゲ海の真珠〉(Penelope “L'eternel Retour”)をお届けします。ギリシャ神話に登場する女性“ペネロペ”がタイトルになっています。ポール・モーリアの録音では中間部に〈ふたりの天使〉などで知られるスキヤットの女王、ダニエル・リカーリが歌っています。

★君の瞳に恋してる (B.ゴードイオ～加藤編)

〈君の瞳に恋してる〉の原題は“Can't Take My Eyes Off You”(君から目を離すことができない)で、1967年にフォー・シーズンズのフランキー・ヴァリがソロシングルとしてヒットさせ、1982年にはボーイズ・タウン・ギャングがディスコ調にアレンジし、日本やイギリスなどで大ヒットしました。作詞・作曲はボブ・クルーとボブ・ゴードイオのコンビで、この歌は彼らの作品中最もヒットした代表作の一つとなりました。多くのアーティストがカバーしていることでも有名です。サッカー、高校野球の応援歌としても使われています。

5. ステアトリオ (加藤繁雄・原 静雄・伏見晃司)

★カヴァティーナ (S.マイヤー～加藤編)

1960年代末期におけるベトナム戦争での過酷な体験が原因で、心身共に深く傷を負った若き3人のベトナム帰還兵の生と死、そして3人とその仲間たちの友情を描いた1978年公開のアメリカ映画『ディア・ハンター』より〈カヴァティーナ〉です。ジョン・ウィリアムズのギター演奏と弦楽アンサンブルによるメイン・テーマが随所に流れ、映画のシーンを盛り上げています。ギターソロでも演奏されますが、オリジナルの味を出すべくトリオでアレンジしました。



★どんぐりころころ変奏曲（梁田 貞～加藤編）

日本ギター合奏連盟編『やさしいギターアンサンブル第 1 集』で「どんぐりころころ変奏曲」を編曲・発表しましたが、今回のアレンジは“やさしい”版ではなく“骨のある”どんぐりです。どんぐりをユーモアでお茶目なキャラクターに感じ、作詞作曲した感性に魅力を感じます。（作詞：青木存義、作曲：梁田 貞）金田一春彦は「日本の三大童謡の一つ」と評しています。さて、今回の編曲ではギターの名曲が 2 曲隠れています。分かるかな？（解答はこのページ下）

【第 2 部】 13 : 48

6. ヴァンテージ（2011 年結成、団長：辰野 悟）



三巻 弘・安田喜久男・辰野 悟・森田文子・吉田浩二・豊島定清・萩原洋一・小森喜矢太・島村慎一郎・加藤繁雄

★ロシア民謡メドレー（ロシア民謡～加藤編）

今は懐かしいロシア民謡ですが、歌声喫茶全盛のころは定番でした。歌声喫茶は 1955 年頃に誕生し、客たちは歌詞集を見ながらギターやピアノに合わせて一斉に歌う憩いの場でした。加藤は行ったことがありませんが……(^_^;)

〈カチューシャ〉〈トロイカ〉〈山のロザリア〉〈ともしび〉〈一週間〉の 5 曲メドレーです。

★ラテンメドレー《ベサメ・ムーチョ～ある恋の物語》（C.ベラスケス、C.アルマラン～加藤編）

〈ベサメ・ムーチョ〉（Bésame mucho）はスペイン語の歌で、「私にたくさんキスをして」という意味になります。1940年にメキシコのコンスエロ・ベラスケス少女が 16 歳の誕生日前に書いた曲で、キスは未経験だったそうです。歌は大ヒットし、ラテン音楽の定番になりました。ビートルズもロック調で歌っていました。

〈ある恋の物語〉（Historia de un amor）はパナマ人のカルロス・エレタ・アルマランが 1955 年に書いた曲で、自分の妻を亡くした悲しみを歌った曲とされていましたが、実はどうやら兄弟の妻の死を悼んで書いた曲とか……。1956 年に同名の映画の挿入歌となりました。トリオ・ロス・パンチョスを始めいろいろな歌手により、さまざまなスタイルでカバーされています。日本でもアイ・ジョージやザ・ピーナッツをはじめ、いろいろな歌手がカバーしました。（ん？ 古すぎますか……^_^;）。ラテンのスタンダードナンバーです。

解答：ロドリゴのアランフェス協奏曲第 2 楽章、ソルのギャロップ

7. SS7 (吉田浩二・吉沢順子・田中孝子・加藤繁雄・千葉由紀・松井謙治・望月敬志)

★ロビンソン (草野正宗～加藤編)

SS7はSSQの拡大版です。望月さんが兵庫県に引っ越して、定期練習に参加できなくなったので、松井さんが望月さんのパートを担当してくれました。これに伴い各パートをダブルにしてパワーアップしたアンサンブルになりました。

ロビンソンはスピッツが1995年に出した11枚目のシングルです。曲名は草野正宗がタイを旅行したとき、強く印象に残っていたという「ロビンソン百貨店」から命名されました。タイトルと歌詞には関連性がなく、歌詞の中にも「ロビンソン」という言葉が一切登場しません。ロビンソンが大好き、弾きたい！というメンバーでSS7を結成しました(^^;)。



8. JOYS Guitar Trio (下村次郎・辰野陽子・加藤繁雄)



下村次郎さんの「J」、辰野陽子さんの「Y」、加藤繁雄君の「S」、そして3人に共通するアルファベット「O」の4つを組み合わせる「JOYS」になることから、JOYS Guitar Trioという名前です。今年1月に結成しました。演奏する私たちが喜びを感じ、聴いてくださる方々も喜びを感じていただけるグループを目指しています。今後の活躍にご期待ください。

★亡き王女のためのパヴァーヌ (M.ラヴェル～加藤編) (ボレロ)などの傑作で知られるフランスの作曲家モーリス・ラヴェル

(1875-1937) のピアノ曲として大変有名なく亡き王女のためのパヴァーヌ(Pavane pour une infante défunte) をアレンジしました。ギターではエミリオ・プジョールが編曲し、ジョンとブリームの名演で知られる2重奏版が一番有名ですが、独奏用にも編曲されています。今回は、より優雅な味が出るように3重奏にしてみました。この作品が出版されたころは批判が多く、ラヴェルを悩ませていたようです。晩年記憶障害や言語症に悩まされ、ついには自分の作品もわからなくなりました。そして「亡き王女のためのパヴァーヌ」の演奏を聞いたとき、「美しい曲だ……誰が作曲したのだろう？」と言ったと伝えられています。ラヴェルはこの曲をこよなく愛していたのです。

★風によって遠くの森へ行こう (佐藤弘和)

今回のプログラムで唯一ギター重奏のオリジナル作品です。この曲は2001年、佐藤さんが音楽監督を務めるブルーベルギターアンサンブルのために書かれました。渡り鳥が勇気をもって飛翔する様子を書いています。作品には次のような標題が付いています。

1. 森のざわめき
2. 集いと決意のテーマ
3. 飛翔
4. 夜間飛行
5. 勇気
6. 休息
7. 再び飛び立つ。さあ出発だ！
8. 朝日に向かって

各表題は途切れずに演奏されます。それぞれの場面をイメージして聴いてみてください。

★トルコ行進曲 (W.A.モーツァルト～加藤編)

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756-1791) の代表的ピアノソナタ第11番 K.331 終楽章の〈トルコ行進曲〉です。この曲を知らない人はいないほど有名な作品ですが、実はギターアンサンブルにも最適です。モーツァルトはトルコの軍隊が行進するときを使う「トルコ太鼓」をイメージして作曲していますが、その雰囲気を出すにはギターが大変適していると思います。また、この曲を練習するとスケール(音階)やアルペジオの技術が向上するようです。楽しみながら技術向上！ギターファンはぜひ挑戦を！(^^)

9. ステアカルテット (加藤繁雄・原 静雄・伏見晃司・赤尾政登)

ステアトリオ・ステアカルテット・ステアクインテットは 2012 年加藤の呼びかけで結成しました。ザ・ステアのコンサートマスター原 静雄、プライムギターのパートリーダー伏見晃司、団長の赤尾政登と加藤がカルテットのメンバーで、辰野陽子さんを含めてクインテットも結成しました。昨年 9 月に行った加藤繁雄サロンコンサート VOL.3 で大好評を博し、その演奏は YouTube でも聴くことが（見ることも）できます。



★花のワルツ (P.I.チャイコフスキー～加藤編)

チャイコフスキー (Peter Ilyich Tchaikovsky, 1840-1893 露) の代表曲『くるみ割り人形』は、2 幕 3 場からなるバレエ音楽で、〈花のワルツ〉は第 2 幕 13 曲目の作品です。アンドリュー・ヨークがギター 4 重奏に編曲し、ロサンゼルス・ギターカルテットが見事な演奏をして以来、ギターアンサンブルファンにとってぜひとも弾きたい曲になっています。ただ、ヨークのアレンジはメロディーが各パートに振り分けられているので演奏者が同等のレベルで演奏する必要があります。また、本来はハープの美しいイントロがあるのですが、ヨークはその部分を省略していました。従ってイントロを入れ、メロディーの振り分けを少なくして編曲しました。大変美しい曲で、TV の CM などでもお馴染みだと思います。色々な花が咲きほこり、踊っている様子を感じていただけたら何よりです。

10. ステアクインテット (加藤繁雄・辰野陽子・原 静雄・伏見晃司・赤尾政登)



★CANON 春夏秋冬 - by J-POP - (J.パッヘルベル～加藤編)

CANON のコード進行は、C-G-Am-Em-F-C-F-G7 となっています。このコード進行は J-POP で頻繁に使われ、またその進行で作った曲は大ヒットするというジンクスもあるそうです。いろいろ探してみたらアルアル！ 実に多くの J-POP がこの進行で出ています。ということで、春夏秋冬の季節でつなげてみました。《春》コブクロの代表作〈桜〉、《夏》井上陽水の〈少年時代〉、《秋》小林明子の〈恋におちて ～Fall in Love～〉、《冬》山下達郎の〈クリスマス・イヴ〉、《一年》岡本真夜の〈Tomorrow〉 となりました。〈恋におちて〉の歌詞は秋とは限らないのですが、“Fall” には秋という意味もあり、落ち葉も舞うし、人恋しくもなり……、まあ秋に歌ったり聞いたりするのが一番ふさわしいでしょう！ という結論になりました。ぜひお楽しみください。

★リベルタンゴ (A.ピアソラ～加藤編)

ピアソラ 1974 年発表の作品です。Libertango は “自由” (libertad) と “タンゴ” (tango) を組み合わせて作った合成語で、“自由なタンゴ” という意味になります。ファン・ペロンが大統領に返り咲くようなアルゼンチンの国情に嫌気をさして、イタリアで演奏活動していたときの作品です。ピアソラは恐らく祖国アルゼンチンがもっと自由な国になってほしくてこの曲を作ったのでしょう。

日本ではチェロ奏者のヨーヨー・マがサントリーローヤルウィスキーの CM でこの曲を弾き、人気が出ました。ギターでは 4 重奏のアレンジが広く知られていますが、ステアクインテット用に 5 重奏でアレンジしました。

11. プリマヴェーラ (2013年結成 団長：大野明日子)



所 秀展・大野明日子・青沼酉子・常盤紀子・岩村チヨ・岩崎富美子・森山^{わか}幼菜・小林良太・友田明文

★タイスの瞑想曲 (J.マスネ～加藤編)

ジュール・マスネ (Jules Emile Frédéric Massenet, 1842-1912) はフランスの作曲家で、19世紀末から20世紀初頭にかけて大変人気がありました。現在もオペラ「マノン」、「ウェルテル」、「タイス」は頻りに上演され、主要なオペラハウスのレパートリー演目となっています。タイスの瞑想曲は、マスネが作曲した歌劇「タイス」の第2幕第1場と第2場の間奏曲です。甘味なメロディーには独特の跳躍があり、演奏は難しい曲だと思います。ヴァイオリンソロのほか、フルートでも演奏されます。

★太郎メドレー 浦島太郎～金太郎～桃太郎 (文部省唱歌・田中虎蔵・岡野貞一～加藤編)

auのCMを真似たわけではありません。あのCMが流れる以前にこの構想があり、アレンジも完成していたんですよ！ ホント！ 偶然の一致とはいえ不思議な話です。ところで、auはなぜ浦島太郎と金太郎と桃太郎をCMキャラにしたかご存知ですか？ 日本の英雄→auというわけですか！ つまりダジャレ……。どうせなら今回のアレンジと演奏をCMで使ってほしいくらいです。もしも今日auの職員の方がいらっしゃいましたら、ぜひご提案を！（^^）

このアレンジは11月に発売されたばかりの『やさしいギターアンサンブル第6集 日本のうた(2)』（日本ギター合奏連盟編）に掲載されています。模範CD付きで3,000円（税別）。お求めはシグマギターまでどうぞ！（^^）

★ラヴァーズ・コンチェルト (C.ペツォールト～加藤編)

バッハの作品とされていた《アンナ・マクダレーナ・バッハのための音楽帖》が実はクリスティアン・ペツォールト (1677-1733) の作品だったと判明したのは近年のことです。ペツォールトはドイツバロック音楽最盛期の作曲家で、当時最も有名なオルガン奏者だと言われています。〈ラヴァーズ・コンチェルト〉は有名なト長調のメヌエットをポップス調にアレンジした曲で、女性R&Bグループ「ザ・トイズ」が1965年に歌って大ヒットしました。日本ではサラ・ヴォーンのパージョンが有名で、桑田佳祐や薬師丸ひろ子、DEENなどもカバーしています。

12. ヴィンテージ

★コーヒールンバ（J.M.ペローニ～加藤編）

〈コーヒールンバ〉はアルパ奏者、ウーゴ・ブランコの演奏で世界的にヒットした曲で、原曲はブランコの叔父であるベネズエラの作曲家ホセ・マンソ・ペローニがコーヒーをモチーフに1958年に作詞・作曲した〈Moliendo Café〉（コーヒーを挽きながら）です。ルンバという名がついていますが、実際にはウーゴ・ブランコが生み出したオルキデアというリズムで書かれています。

★ホテル・カリフォルニア（D.ヘンリー & G.フライ～加藤編）

アメリカのロックバンド、イーグルス1976年の作品で、1970年代のアメリカン・ロックを代表する楽曲のひとつです。現在では全世界的にロック・スタンダードとして定着しており、ロック奏者だけでなくポップス奏者やラップ奏者、果てはジプシー・キングスなどのラテン奏者やレゲエ奏者に至るまで、ジャンルを超えて幅広く好んでカバーされています。アコースティックヴァージョンをアレンジしています。

13. ザ・ステア（1988年結成 団長：赤尾政登）



原 静雄・赤尾政登^{まさと}・太田登希子・金山茂弘・田中孝子・伏見晃司・下村次郎・鶴田至道^{のりみち}・松井謙治・加藤繁雄

★アルルの女第2組曲より第4番ファランドール（G.ビゼー～加藤編）

ジョルジュ・ビゼー（Georges Bizet, 1838-1875）が1872年に書いた27曲に及ぶ「アルルの女」から第2組曲の4曲目がファランドールです。この曲は「3人の王の行列（王の行進）」と「馬のダンス」の2種類の民謡をもとに作られています。特に冒頭の主題は広く知られており、その荘厳さとプロヴァンス太鼓を使用した活気あるテンポから、アンコールナンバーとしても人気が高い曲です。

★弦楽六重奏第1番 Op.18より第2楽章（J.ブラームス）

ヨハネス・ブラームス（Johannes Brahms, 1833-1897）は19世紀ドイツの作曲家で、バッハ、ベートーヴェンと共にドイツ音楽の「三大B」とも称されています。弦楽六重奏曲第1番は1860年、27歳の時に作曲されました。ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロがそれぞれ2人ずつの編成からなり、重厚で陰影豊かな響きを生みます。ギターではジョン・ウィリアムズとジュリアン・ブリームの2重奏が絶品ですが、ギターアンサンブルではよりオリジナルに近い響きを目指して取り組んできました。

★交響詩《わが祖国》よりモルダウ（B.スメタナ～加藤編）

チェコ（ボヘミア）の国民楽派を代表するベドジフ・スメタナ（Bedřich Smetana, 1824- 1884）の代表作、交響詩《わが祖国》は 1874 年から 1879 年にかけて作曲された 6 つの交響詩からなる連作交響詩で、第 2 曲目ヴルタヴァ（モルダウはドイツ語）は 1874 年に作曲されました。スメタナは以下のように述べています。

この曲は、ヴルタヴァ川の流れを描写している。ヴルタヴァ川は 2 つの源流から流れ出し、それらが合流して一つの流れとなる。そして森林や牧草地を経て、農夫たちの結婚式の傍を流れる。夜になり、月光の下、水の妖精たちが舞う。岩に潰され廃墟となった気高き城と宮殿の傍を流れ、ヴルタヴァ川は聖ヤン（ヨハネ）の急流で渦を巻く。そこを抜けると、川幅が広がりながらヴィシエラドの傍を流れてプラハへと流れる。そして長い流れを経て、最後はラベ川（ドイツ語名エルベ川）へと消えていく。

全曲は大変長いので、ステアの演奏は 8 分程度に短縮しています。どうぞお楽しみください。

★交響曲第 40 番第 1 楽章（W.A.モーツァルト～加藤編）

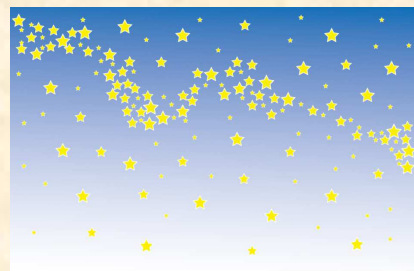
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト（Wolfgang Amadeus Mozart, 1756-1791）は古典派音楽の代表で、ハイドン、ベートーヴェンと並んでウィーン古典派三大巨匠といわれています。交響曲は 41 番までありますが、25 番と 40 番だけが短調で書かれていて、どちらも短調です。中でも 40 番の第 1 楽章は大変弦楽器的な作品で、ギターアンサンブルにしても本来の味わいが十分感じられます。シルヴィ・ヴァルタンは〈哀しみのシンフォニー Caro Mozart〉というタイトルでこの曲に歌詞をつけて歌いました。

14. シグマグランドアンサンブル（全出演者）

★見上げてごらん夜の星を（いずみたく～加藤編）

全参加者が演奏して、最高の思い出になるコンサートをやりたい！と思ったのは確か 3 年前だったと思います。一番頭を悩ませたのは曲選び。誰もが知っている曲をギターならではの表現でしかもやさしく、という私の希望を満たしてくれたのが〈見上げてごらん夜の星を〉でした。

1985 年の日航機事故でこの世を去った坂本九の代表曲で、数多くのアーティストがカバーしています。2011 年の東日本大震災では多くの人を励ました名曲です。きっと皆様にも何かを感じていただけるような気がします。



出演者アンケート：ギターを始めたきっかけ・動機は？



三巻 弘

フォークギターが弾ければ女子にもてるかな？ という不純な動機でした（笑）。



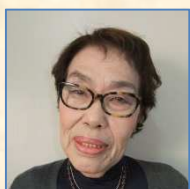
安田喜久男

大学 4 年の時、友人の下宿で聴いたリンゼイの〈雨だれ〉に感動。中出版蔵のギターを買って、指から血が出るほど練習した。



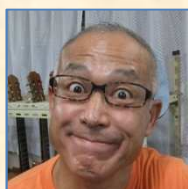
辰野 悟

ベンチャーズやビートルズが流行り始めた頃、高校の友達にギターを弾いていたのを聴いて魅せられた。



森田文字

ギターの音色が好きで 50 歳から始めました。70 歳の時は上手に弾けると思いましたが…(^^;)



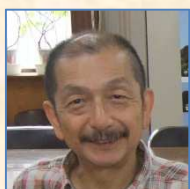
吉田浩二

幼いころからギターの音色が好きでした♡



豊島定清（さだきよ）

工業高校で女子がいなかったので、大学で女子のいるクラブを物色していたらギター部に勧誘され、入部した。



萩原洋一

札幌の大学時代に友人のギターを借りて弾いた。メロディーを探譜し、それにコードを付けて手書きの譜面を作っていました。



小森喜矢太（きやた）

ジョン・パエズの〈ドナドナ〉を聴き、もらったギターで弾いてみたのがきっかけ。



島村慎一郎

中学生時代にギター好きのおじさんからピックギターをもらったのがきっかけです。教室へ習いに行きましたがそのままになり、年をとってから再開しました。



ボサノヴァを弾き語りできる
ようになったら素敵♡と思
って始めた……はず。

大野明日子



E.クラプトンの(Tears in
Heaven)を弾けるよう
になりたくて。未だに弾けませ
んが……^^;

所 秀展



音色に誘われて、かつてい
い先輩につられて。

岩崎富美子



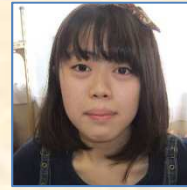
このまま仕事一色の人生
なんて……と、その時聴い
たギターの音色の優しさに
癒されて。

友田明文



息子がエレキギターに走っ
て、クラシックギターが眠っ
ていたので。

常盤紀子



祖父の影響で始めまし
た。祖父にもらったギターで
練習しています。

森山幼菜 (わかな)



シグマのコンサートを聴いて
皆さんの音色に惚れ、参
加させて頂き光栄に思っ
ています。

岩村チヨ



ディア・ハンターのテーマ曲
(カヴァーティナ)にあこがれ
て!! 現実はずきし〜い。

青沼酉子 (とりこ)



職場の保育園で子供たち
と楽しめたら、と思っ
て始めました。

小林良太



兄がクラシックギターのレコ
ード付き通信教育をやっ
ていたので。

原 静雄



高校の授業で、楽器の演
奏が全くできなかったのが
悔しくて始めました^^;

赤尾政登 (まさと)



グループサウンズ全盛の
頃、せめてフォークギターを
やりたいと弾き始めたが、1
秒もしないうちに自分には
合っていないと分かりクラシ
ックを始めた。

大田登希子



兄が親から買ってもらった
ギターが棚の上に置いたま
まになっていた。勿体ない
ので弾いてみようと思っ
たのがきっかけです。

金山茂弘



小さい頃叔母のウクレレを
真似して弾いたのがギター
に憧れたきっかけ。

田中孝子



中学生の時病気のためバ
ドミントン部を止め、代わり
に選んだのがギターでし
た。

伏見晃司



初めて聞くギターのバッハの
ガボット。あ、これ弾きた
い!

下村次郎



ビートルズを聞いたのが始
めたきっかけでした。なぜか
クラシックに行ってしまった。

鶴田至道 (のりみち)



ソロギターに憧れて。あと
舞台度胸も付けたかった
ので。

松井謙治



子供の学費(支払)が
やっと終わって自分のため
に習い事ができるようにな
ったとき、ギターが良いか
な? って思いました。

千葉由紀



学生の頃に担任の先生が
クラシックギターをやっ
ていて、誘われて始めまし
た。音楽や歌が好きなので良
いかなと思いました。

吉沢順子



中学時代の友人が目
前でギターを弾くの聴い
て。音色がすごく良かった。

望月敬志



音楽教室でスタッフとして
働いていたとき、ギターに
食指が動いた。(2500
円の食事券に釣られて…
^^;)

木村美紀子



1. 音楽が好き 2. 持ち
運べる 3. 歌に合わせて
弾ける 4. 楽器の構造
が気になった 5. 幼少の
ころ父がギターを弾いて
いた 6. 音色

辰野陽子



12歳で入院し、親に買っ
てもらいました。毎日8時
間弾いていました。とても
幸せな入院生活でした。
(^^;

加藤繁雄

《楽器紹介》

ザ・ステアが使用しているアンサンブル用ギター

- ソプラノギター(Soprano Guitar)…… 普通のギター(プライムギター)より1オクターヴ高く調律する。
- アルトギター(Alto guitar)…… 普通のギター(プライムギター)より完全5度高く調律する。
- プライムギター(Prim Guitar)…… 普通のギターを合奏で使用する場合、このようにいます。
- バスギター(Bass Guiatr)…… 普通のギター(プライムギター)より完全4度低く調律する。
- 8弦ギター(8st.Guitar) …… ①弦より高い弦(ラ)と⑥弦より低い弦(シ)を併せ持つ。

日本ギター合奏連盟が丹念に作り上げた新シリーズ第6弾!

やさしいギターアンサンブル第6集 日本のうた [2]

CD・パート譜付 日本ギター合奏連盟編 現代ギター社 定価3,240円(税込)
収録曲(全12曲) ※四重奏、その他は三重奏

やさしい
ギターアンサンブル
6表紙
(カラー)

- 早春賦～どこかで春が(大橋正子編)
- 花(萩野谷英成編)
- 夏空へ寄せる3つの歌(中島晴美編)
- 秋のメドレー(佐藤弘和編)
- ※お正月変奏曲(斉藤泰士編)
- 冬景色(前田 司編)
- 太郎メドレー(加藤繁雄編)
- 鉄道唱歌と汽車の旅(伊東福雄編)
- 叱られて(佐野正隆編)
- 椰子の実(久保公二編)
- 青い目の人形(石田 忠編)
- 雨の物語(篠原正志編)

ご注文・お問合せ: シグマギタースクール (03-3761-6719)

ダイシンライブコンサート 2016年2月28日(日)

1st Stage	14:00~14:30
2nd Stage	15:00~15:30

会場: ダイシン百貨店 2F 文士村・馬込茶房 BUNSHIMURA・MAGOME SABO (予約受付)

入場: アップルポイントカード会員様限定ライブ テーブルチャージ(200円) + ドリンク代(310円~)

出演: 加藤繁雄・JOYS Guitar Trio、他

お問合せ: シグマギタースクール (03-3761-6719)

Σシグマギタースクール 生徒募集中!!!

ギターが弾けたらいいなあ……と思ったらお電話ください

初歩からていねいに指導します

クラシック・アコースティック・エレキ・ベース・アンサンブル・コード理論

JR 大森駅東口徒歩3分 ミルパ商店街内 (11:00-22:00)

〒143-0016 東京都大田区大森北 1-35-1 増尾ビル 3階

TEL&FAX: 03-3761-6719 kato@sigumaguitar.com

<http://www.sigumaguitar.com/> YouTube も HP から